

平成 29 年度 事 業 報 告

自 平成 29 年 4 月 1 日
至 平成 30 年 3 月 31 日

公益社団法人 自彊術普及会

I 【概 要】

日本銀行によれば、海外経済は緩やかな成長が続き、輸出は持ち直しており、また企業収益も高水準で推移して業況感も改善し、雇傭・所得環境の着実な改善を背景に個人消費も底堅く推移し、我国の景気は、穏やかな回復を続けているとのことである。リーマンショック以降の長く暗いトンネルを潜り抜けた安堵感にホッとする気持ちを否めない。

また我国をとりまく情勢も、オリンピックを機とする南北対話、米朝間の非核化へ向けた対話の可能性（進展）により期待される米国の武力行使という緊迫した事態の解消や、日中関係にも改善の兆しが見られるなど、近年になく明るいかすかな希望の光が射し始めた様に思われる。

しかし他方、米中の関税対立に端を発する世界貿易戦争の懸念、米国のイラン核合意離脱と中東情勢の緊迫化、中国の軍拡の維持等々、私達の平穏と思える日常は、世界の政治、経済の動向に左右され、その豊かさや平和にはいつ何時翳りがくるかも知れぬとの覚悟が求められている。

平穏無事に思える今、孔子の「君子は安くして危うきを忘れず、治にして乱を忘れず」（『易経・繫辞伝』）という言葉に思いを致し、自彊術を通しておのが心身の健全さを維持するとともに平常心を養い、如何なる事態にも適切な判断をなしうる力を備えて日々を送りたいものとする。

なお、平成 29 年度には、本会の活動の趣意を理解して入会した賛助会員は、56,964 名となり前年度比 591 名（約 1%）の増加となっており、本会の各事業活動は各支部長並びに指導者各位の社会に貢献しようとの情熱と使命感により順調に推移したものとする。常に「社会のための自彊術」という視点を持ち、各事業の遂行に努めて下さった各支部長以下全国の指導員、本部職員の皆様へ改めて感謝を申し上げます。

会 員	平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	増 減
名誉会員	1	0	- 1
正 会 員	6 5 4	6 6 4	+ 1 0
賛助会員	5 6, 3 7 3	5 6, 9 6 4	+ 5 9 1
合 計	5 7, 0 2 8	5 7, 6 2 8	+ 6 0 0

II 【事業の内容】

公1 普及促進事業

1. 指導講習会の実施(定款第4条第1項(1))

①本部主宰の講習会のほか中伝資格者以上の指導者が主宰する教場での講習会において、従前よりの教場に加えて平成29年度は下表の推移となった。

	北海道	東北	関東	中部	関西	中国・四国・九州	合計
既存教室 H28 下期 (確定値)	52	259	2,624	677	701	454	4,767
H29 年度増減 (※速報値)	+9	+7	+47	+15	+30	+4	+112
計	61	266	2,671	692	731	458	4,879

※ 各支部長申告のデータより算出しています。

② 受託講習会

生涯教育としての「自彊術」の必要性の認識が高まり、地方公共団体・病院の主宰する講習会や、NHK・朝日・読売などの民間カルチャーセンターなどからの講師派遣依頼も増加した。

③ ボランティア活動

介護施設のデイケアに訪問し、参加者が可能とする運動を自彊術31動から抜粋して行う等の活動がなされた。

2. 指導者養成及び資格・称号の授与(定款第4条第1項(2))

「自彊術」を後世に永くかつ正確に継承する為に、また安全かつ適切な指導による自彊術体操の普及を確保する為に、その原点である療法と体操を基礎から学ぶ研修会を実施し、その修練と研鑽による技量に応じて指導者資格を認定授与する。

(1) 指導者養成特別研修会(「指導者資格・称号の授与等に関する規程」第5条)

① 熱川研修会(自彊術体操の普及とその技術と精神の伝承を志し、自彊術普及会の中核指導者とならんとする者を養成することを目的とする。)

第100回	平成29年4月7日～9日 指導者 師範3名・奥伝5名 受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者 計130名
第101回	平成29年6月23日～25日 指導者 師範3名・準師範1名・奥伝2名 受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者 計82名
第102回	平成29年10月20日～22日 指導者 師範2名・準師範2名・奥伝3名 受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者 計128名

厳しい研修にもかかわらず、参加希望者は、その技術力・指導力の向上を目指している。
 なお普及会本部では、全国規模で集合し研修を受けることにより、統一的な技術の維持
 確保及びその精神の伝承を図る、という非常に重要な研修会と位置づけており、研修内容
 も厳しいものになっている。

② **シニア熱川研修会**(65 歳以上の、指導者を目指す者を対象とした研修会を伊豆熱川で開
 催する。)

第 11 回	平成 29 年 10 月 18 日～20 日 指導者 師範 3 名・準師範 1 名・奥伝 4 名 受講対象者 65 歳以上の中伝取得者、中伝を目指す者 計 112 名
--------	---

指導者を目指す 65 歳以上の人を一堂に集め、自彊術の技術とその精神を正しく伝えると
 という目的で開催された。目的である指導技術の統一的伝承という成果は、十分に挙げ得たと
 いうことができる。

③ **総支部指導者養成所研修会**

指導者養成のために、本部並びに総支部に於いて年 10 回を 1 タームとする基準をもって実
 施する。

名 称	受講資格	実施場所	指導講師
東北 指導者養成所	初伝・中伝	福島県福島市置賜町 5-18 置賜会館	準師範 高原 恵子 他
関東 指導者養成所	初伝・中伝	東京都北区中里 2-12-3 本部道場	師 範 藤井真規子他
神奈川県 指導者養成所	初伝・中伝	東京都北区中里 2-12-3 本部道場	師 範 幸村恵美子他
中部 指導者養成所	初伝・中伝	愛知県名古屋市中区丸の内 2-5-10 アイリス愛知	準師範 富田 節代 他
関西 指導者養成所	初伝・中伝	大阪府吹田市朝日町 1-401 さんくすホール	師 範 四本多美子他
九州・中国 指導者養成所	初伝・中伝	福岡県福岡市中央区天神 2-2-20 警固神社 福岡県北九州市小倉北区 古船場町 1-6 菅原会館	準師範 宮本 綾子 他

④ 地方特別研修会

各支部の中核となる指導者養成のために各支部の要請に応じ、年1回随時実施する。

平成29年度 地方特別研修会

番号	支部名	特講開催日	場 所	実行委員長	講 師	
1	春日部、越谷、春日部北支部合同	4/25 火 ~ 4/26 水	本部道場	門倉久美子	長岡勝美	小島恵子
2	名古屋中支部	5/11 木 ~ 5/12 金	アイリス愛知	服部八子	山尾慶子	朝倉淑美
3	石川県支部	5/13 土 ~ 5/14 日	石川県文教会館	木戸外茂子	富田節代	松井陽子
4	川越、熊谷、新宿朝日、所沢、東松山支部合同	5/16 火 ~ 5/17 水	本部道場	大谷敏子	幸村恵美子	渡邊公子
5	静岡県支部	5/20 土 ~ 5/21 日	静岡県総合研修所もくせい会館	岩田宏子	小林久美子	村田啓枝
6	立川、甲府支部合同	5/27 土 ~ 5/28 日	ブリジストン奥多摩園	遠藤 ゆり子	白須清子	大橋直子
7	大阪府支部	5/27 土 ~ 5/28 日	パナソニックリゾート大阪	綿田美美枝	虫生一恵	三上博子
8	千葉県柏支部	5/30 火 ~ 5/31 水	本部道場	久保田元子	中島陽子	中西とし
9	わかやま県、大阪東支部合同	6/3 土 ~ 6/4 日	パナソニックリゾート大阪	木村嘉津子	宮本綾子	善上陽子
10	東北総支部合同 (福島・山形県・茨城県・宮城県北)	6/4 日 ~ 6/5 月	山房 月之瀬	高原恵子	猪狩正子	小島秀子
11	千葉県成田支部	6/6 火 ~ 6/7 水	本部道場	長岡勝美	吉川由美子	矢嶋アキ子
12	千葉県稲毛、千葉県流山、大宮南支部合同	6/27 火 ~ 6/28 水	本部道場	山中信子	鎌上恭子	高木洋美
13	札幌支部	7/1 土 ~ 7/2 日	札幌全日空ホテル	玉置百合子	虫生一恵	松本雅江
14	名古屋支部	7/1 土 ~ 7/2 日	アイリス愛知	石原久美子	小林久美子	鈴木すが子
15	兵庫県支部	7/1 土 ~ 7/2 日	シーパル須磨	四本多美子	藤井真規子	丹羽とも子
16	立川朝日、春日部南支部合同	7/4 火 ~ 7/5 水	本部道場	川井千恵子	四本多美子	久坂久代
17	大宮支部	7/25 火 ~ 7/26 水	本部道場	中島陽子	富田節代	加藤由美子
18	九州・中国総支部 合同 (福岡・北九州・山口・南九州・福岡南)	9/1 金 ~ 9/2 土	警固神社	宮本綾子	白須清子	大橋直子
19	豊橋支部	9/16 土 ~ 9/17 日	ロワジールホテル豊橋	富田節代	門倉久美子	江波戸光子
20	神奈川県総支部合同(横浜・横浜朝日・横須賀・ 神奈川南・大岡・神奈川ミナト・神奈川ふじさわ・湘南・静岡 岡葉)	9/19 火 ~ 9/20 水	本部道場	幸村恵美子	猪狩正子	都築子ヨ子
21	小平支部	9/26 火 ~ 9/27 水	本部道場	事務長 後藤光子	四本多美子	浜田恵子
22	千葉県、練馬、むさし野、板橋支部合同	10/3 火 ~ 10/4 水	本部道場	志田由美子	高原恵子	鈴木玲子
23	豊川支部	10/3 火 ~ 10/4 水	豊川市民プラザ	加藤 由美子	中島陽子	千綿マリ子
24	富士北麓支部	10/4 水 ~ 10/5 木	三ツ峠グリーンセンター	澤田請子	藤井靖子	
25	東京北支部	10/14 土 ~ 10/15 日	本部道場	堤恭子	幸村恵美子	斎藤節子
26	京都府、奈良県支部合同	10/14 土 ~ 10/15 日	京都東寺内洛南会館	山尾慶子	須賀照子	大矢貴江
27	滋賀県・京都洛中支部合同	11/8 水 ~ 11/9 木	アヤハレークサイドホテル	朝倉淑美	吉川由美子	長島正枝

(2) 上級指導者研修会（「指導者資格・称号の授与等に関する規程」第6条）

奥伝資格以上の指導者を対象とし、その指導技術、徳育(自彊術の精神)の更なる涵養を図り、後進指導者を養成する能力を培うと同時に、自彊術体操を日本の一文化として後世に伝承する気概を持つ人材を育成することを目的とする。

- ① 準師範等研修会(体操・療法についての技術、指導上の要点の確認をし、その結果を指導者養成特別研修会における研修に反映させることにより、指導の統一性を維持することを目的とする。)

箱根湯本：平成29年11月25日～26日 師範7名、準師範13名

② 奥伝研修会

- (i) 選抜奥伝研修会(将来、指導者養成特別研修会の講師となる者を養成することを目的とし、その候補者約30名は本部が選出する。)

平成29年4月11日、10月17日、平成30年1月16日

- (ii) 奥伝会(広く奥伝資格者を対象とする。)

箱根湯本：平成29年11月26日～27日 師範7名、準師範13名、奥伝92名

③ 支部長研修会

本部道場：平成29年4月11日、10月17日、平成30年1月16日

(3) 資格・称号の授与(定款第4条第1項(2))

免状	年度	月	人数	小計
初伝	平成29年	4月	138名	
		7月	223名	
		10月	164名	
	平成30年	1月	212名	737名
中伝	平成29年	8月	147名	147名
奥伝	平成29年	6月	13名	13名
準師範	平成29年	6月	3名	3名
師範	平成29年	6月	0	0

地方区分別免状取得者分布は、下記のごとくとなった。

	北海道	東北	関東	中部	関西	中国四国九州	合計
初伝	10	28	433	84	126	56	737
中伝	2	9	71	21	29	15	147
奥伝	0	2	6	2	2	1	13
準師範	0	1	2	0	0	0	3
師範	0	0	0	0	0	0	0

公2 普及啓発事業

1. 自彊術に関する調査研究(定款第4条第1項(3))

自彊術体操の日常生活に於ける有効性を実証することを目的に、10月20日第11回シニア熱川研修会の参加者を対象に健康度測定調査を実施した。【「自彊の友」第503号(平成30年1月号)参照】また、平成30年1月より、パルスオキシメーターによる自彊術実施前後の「血中酸素飽和度変化」の継続的調査を開始した。

2. 自彊術に関する刊行物等の発行(定款第4条第1項(3))

① 機関紙「自彊の友」の発行

故近藤医学博士による「自彊術」の医学的根拠・効能に関する講義、受講者たちの体験談、普及活動の現状、免状取得者の氏名、事業計画の伝達等を掲載して自彊術体操の優秀性・合理性を社会に啓発することを目的とする。

平成29年度各号の主な記事は次の通りである。

4月号(494号)

- ・大宮南支部たより
- ・被災された皆様からのお礼状
- ・メモリアル・レクチャー「圧の医学」③

5月号(495号)

- ・祝“第100回”熱川研修会
- ・平成29年4月1日附初伝取得者名簿(138名)
- ・東日本大震災・熊本・大分地震 見舞金・義援金募金活動のお礼とご報告
- ・メモリアル・レクチャー「圧の医学」④

6月号(496号)

- ・東松山支部たより
- ・被災された皆様からのお礼状
- ・メモリアル・レクチャー「5分間で精神統一できる方法」

7月号(497号)

- ・公益社団法人自彊術普及会 第7回通常総会
- ・平成28年度正味財産増減計算書

8月号(498号)

- ・大岡支部たより
- ・「自分で治せる膝と腰の痛み」①(公開講演会)
順天堂大学医学部特任教授 黒澤 尚先生

9月号(499号)

- ・設立35周年記念旅行 春日部支部
- ・平成29年7月1日附初伝取得者名簿(223名)
- ・「自分で治せる膝と腰の痛み」②(公開講演会)

10月号(500号)

- ・祝!「自彊の友」500号
- ・平成29年8月15日附中伝取得者名簿(147名)
- ・「自分で治せる膝と腰の痛み」③(公開講演会)

11月号(501号)

- ・第29回愛知サマーセミナー 沸騰する「21世紀型学び」
- ・平成29年10月1日附初伝取得者名簿(164名)
- ・「自分で治せる膝と腰の痛み」④(公開講演会)

12月号(502号)

- ・越谷支部たより
- ・「自分で治せる膝と腰の痛み」⑤(公開講演会)

1月号(503号)

- ・2018年 謹賀新年
- ・我がクラスの自慢したい先輩
- ・「自分で治せる膝と腰の痛み」⑥(公開講演会)
- ・2018年 行事予定

2月号(504号)

- ・所沢支部たより
- ・初めて奥伝研修会に参加して
- ・メモリアル・レクチャー「ガンの話」①

3月号(505号)

- ・春日部北支部たより
- ・平成30年1月1日附初伝取得者名簿(212名)
- ・メモリアル・レクチャー「ガンの話」②

② 「リーフレット」の配布状況

リーフレットには、「自彊術」の歴史と効能・地域ごとの開催場所や主宰者名が記載されている。18,623部の配布となった。

③ 「自彊術の葉」の配布状況

葉には、「カリキュラム」「自彊術の心得」とともに、「入会に必要な事項」が記載されている。5,913部の配布となった。

3. webによる情報の公開(定款第4条第1項(3))

公益法人に要求される情報公開への対応及び社会への普及啓発のために、更なる充実を図り、本会に対する社会的信頼の形成に尽力する必要がある。

4. 公開講演会の実施(定款第4条第1項(4))

一般の方々への普及啓発と会員の啓発を目的として、6月21日に、順天堂大学医学部特任教授 黒澤尚先生により「自分で治せる膝と腰の痛み」の演題で実施され、好評を得た。

5. 周年記念行事の実施(定款第4条第1項(4))

○支部周年行事

- ・40周年 新宿朝日支部
- ・20周年 千葉県稲毛支部
- ・10周年 宮城県北支部

6. 海外文化交流の実施(定款第4条第1項(4))

台湾台北教室

前年度に引続き、月一回の講師派遣をした。また指導者資格取得を目指し、指導者養成特別研修会への参加のため、2名が来日した。

7. 近藤芳朗記念館における展示(定款第4条第1項(3))

自彊術体操の誕生・発展・衰退、そしてその復興の歴史に関する資料の収集と展示を通じて自彊術の技術的精神的優秀性を啓発することを目的とする。

- ・事務局就業時間中、一般の方も常時見学ができる。(要予約)
- ・入館料は無料
- ・本年度入館者数 266名

Ⅲ 【その他】

1. 会議(定款第3章以下及び4章以下)

- (1) **総会**・・・・・・・・・・ ○決算総会 平成29年6月21日 京王プラザホテル(東京都新宿区)
議題:平成28年度事業報告・収支決算報告の承認及び監査報告
任期限了に伴う役員選任
○予算総会 平成30年3月3日 北とぴあ(東京都北区)
議題:平成30年度事業計画の承認
平成30年度収支予算の承認
- (2) **理事会**・・・・・・・・・・ ○決算理事会 平成29年5月19日 北とぴあ(東京都北区)
議題:平成28年度事業報告・収支決算報告の承認及び監査報告
任期限了に伴う役員選任
○予算理事会 平成30年2月9日 北とぴあ(東京都北区)
議題:平成30年度事業計画の承認
平成30年度収支予算の承認
- (3) **支部主催会議**・・・・・・ 随時
本部よりの通達事項の遵守を目的に随時開催された。

2. 熊本・大分地震、東日本大震災に伴う見舞金・義援金募金活動の実施

平成29年7月、九州北部を中心とする豪雨による甚大な被害が発生し、本会「災害対応拠出金の総合口座」には、全国の会員より東日本大震災、熊本地震を含め指定分、無指定分として総額約240万円にのぼるご厚志が寄せられた。執行理事会では慎重に検討の上、東日本大震災・熊本地震被災の会員の皆様へのお見舞金、九州北部豪雨で被災された朝倉市、あしなが育英会津波遺児支援口への義援金の配賦を決定し実行した。【「自彊の友」第501号(平成29年11月号)、第507号(平成30年5月号)参照】

3. マスコミに取り上げられた自彊術

本部

- ・(株)わかさ出版『わかさ夢MOOK』 6月23日発売

札幌支部

- ・北海道テレビ放送 イチオシ(3月14日)

茨城県支部

- ・いわき民報 “自彊術”を体験(9月6日)
- ・福島民報「日本最初の健康体操体験」(9月8日)

東京北支部

- ・飯山市ケーブルテレビ
「飯山市役所健康増進講習会」サークルだよりコーナー(12月2日)

大宮支部

- ・朝霞市民新報「第5回ひざおり春祭り」（2月1日）

千葉県柏支部

- ・広報かしわ 介護予防講座のお知らせ（3月15日号）
- ・松戸北部地区市民センターだより（7月1日号）

練馬支部

- ・広報はちおうじ、すみだ広報 marai、ねりま区報

立川朝日支部

- ・東京ベイネット10チャンネル 春のサークル発表会（4月1日より3回）

大宮南支部

- ・大宮工房館ミニコミ誌

神奈川南支部

- ・社会福祉法人聖母会横浜市原宿地域ケアプラザ「いきいき」（3月31日）

名古屋支部

- ・地域紙 ちたろまん「ちょっとおじゃまします」（4月1日）

名古屋中支部

- ・地域ミニコミ紙 春日井くらしのニュース「自彊術で心身健康に」

豊橋支部

- ・豊橋ケーブルネットワーク ティーズ
「いかまいか！私の街の市民館」（8月4日～11日、11月1日～29日）

大阪府支部

- ・J-com 高槻ケーブルテレビ 芥川公民館自彊術サークル

京都洛中支部

- ・読売新聞 わいずクラブ面「元気印」

北九州支部

- ・RKC 高知放送「今日も元気にばわらじ（水曜日）」

平成 29 年度事業報告 附属明細書

平成 29 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行細則」第 34 条 3 項に規程する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 30 年 5 月 25 日
公益社団法人 自彊術普及会

平成29年度 決算報告書

平成29年度 貸借対照表

平成30年3月31日現在

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	154,216,856	146,182,717	8,034,139
未収金	588,050	648,312	-60,262
前払費用	389,937	759,129	-369,192
流動資産合計	155,194,843	147,590,158	7,604,685
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	30,105,000	30,105,000	0
基本財産合計	30,105,000	30,105,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	25,000,000	23,000,000	2,000,000
減価償却引当資産	100,000,000	85,000,000	15,000,000
新自彊術会館建設積立資産	80,000,000	50,000,000	30,000,000
特定資産合計	205,000,000	158,000,000	47,000,000
(3) その他固定資産			
建物	350,709,492	350,709,492	0
建物附属設備	17,097,820	15,477,820	1,620,000
構築物	1,053,982	1,053,982	0
什器備品	9,403,634	9,403,634	0
土地	267,724,687	267,724,687	0
減価償却累計額	-126,233,495	-117,529,417	-8,704,078
ソフトウェア	476,700	476,700	0
電話加入権	72,800	72,800	0
商標権	2,438,175	2,438,175	0
保証金	20,000	20,000	0
その他固定資産合計	522,763,795	529,847,873	-7,084,078
固定資産合計	757,868,795	717,952,873	39,915,922
資産合計	913,063,638	865,543,031	47,520,607

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	2,443,755	2,132,562	311,193
前受会費	53,738,020	52,437,880	1,300,140
預り金	556,760	686,779	-130,019
流動負債合計	56,738,535	55,257,221	1,481,314
2 固定負債			
役員退職慰労引当金	26,213,000	28,988,000	-2,775,000
退職給付引当金	1,546,588	870,704	675,884
固定負債合計	27,759,588	29,858,704	-2,099,116
負債合計	84,498,123	85,115,925	-617,802
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産合計	30,000,000	30,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
2 一般正味財産			
一般正味財産	798,565,515	750,427,106	48,138,409
一般正味財産合計	798,565,515	750,427,106	48,138,409
(うち基本財産への充当額)	(105,000)	(105,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(180,000,000)	(135,000,000)	(45,000,000)
正味財産合計	828,565,515	780,427,106	48,138,409
負債及び正味財産合計	913,063,638	865,543,031	47,520,607

平成29年度 正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	120,000	120,000	0
② 特定資産運用益	14,762	16,280	-1,518
③ 受取会費	177,220,500	175,587,000	1,633,500
正会員受取会費	6,730,000	6,630,000	100,000
賛助会員受取会費	170,490,500	168,957,000	1,533,500
④ 事業収益	98,752,772	102,325,709	-3,572,937
講習会等実施事業収益	11,867,892	12,146,289	-278,397
指導者養成事業収益	68,308,880	73,666,220	-5,357,340
資格等授与事業収益	18,576,000	16,513,200	2,062,800
⑤ 受取寄付金	693,000	565,000	128,000
受取寄付金	693,000	565,000	128,000
⑥ 雑収益	10,682,394	10,683,181	-787
総会・懇親会会費	9,813,500	10,440,000	-626,500
受取利息	348	371	-23
その他雑収益	868,546	242,810	625,736
経常収益計	287,483,428	289,297,170	-1,813,742
(2) 経常費用			
① 事業費	196,500,172	243,732,225	-47,232,053
役員報酬	23,589,480	26,088,480	-2,499,000
給料手当	21,950,863	21,440,788	510,075
臨時雇賃金	5,448,244	5,449,447	-1,203
報酬謝金	27,663,400	28,229,800	-566,400
役員退職慰労引当金繰入額	0	3,286,312	-3,286,312
退職給付費用	536,745	54,322	482,423
退職給付金	980,000	800,000	180,000
法定福利費	3,652,026	3,806,184	-154,158
会議費	8,124,099	7,853,014	271,085
会場費	133,520	0	133,520
研修会場費	16,230,532	22,232,202	-6,001,670
旅費交通費	17,751,823	16,802,361	949,462
通信運搬費	7,617,820	8,156,170	-538,350
減価償却費	7,183,597	6,856,700	326,897
什器備品費	205,960	0	205,960
消耗品費	3,429,151	11,273,651	-7,844,500
修繕費	2,412,204	1,173,982	1,238,222
印刷製本費	9,721,232	9,594,804	126,428
渉外費	419,561	429,199	-9,638
光熱水料費	1,268,265	1,359,589	-91,324
リース料	185,472	185,472	0
保険料	444,267	529,439	-85,172
諸謝金	1,250,000	1,730,000	-480,000
租税公課	2,040,020	2,040,020	0
インターネット費	787,232	209,432	577,800
支払手数料	226,978	243,235	-16,257

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
委託費	4,969,251	2,829,998	2,139,253
事務委託費	27,281,050	26,952,300	328,750
百年祭事業費	0	33,078,068	-33,078,068
雑費	997,380	1,047,256	-49,876
② 管理費	42,844,847	48,174,671	-5,329,824
役員報酬	8,510,520	9,906,520	-1,396,000
給料手当	6,094,164	6,035,633	58,531
役員退職慰労引当金繰入額	0	1,031,688	-1,031,688
退職給付費用	139,139	72,302	66,837
退職給付金	200,000	0	200,000
法定福利費	1,730,098	1,796,497	-66,399
福利厚生費	733,531	479,966	253,565
会議費	8,934,353	9,664,573	-730,220
会場費	1,440,238	1,385,455	54,783
旅費交通費	561,565	1,138,333	-576,768
通勤費	1,116,600	1,136,774	-20,174
通信運搬費	1,205,446	1,148,308	57,138
減価償却費	1,520,481	1,674,100	-153,619
什器備品費	613,526	167,170	446,356
消耗品費	1,259,142	1,808,345	-549,203
修繕費	79,358	184,982	-105,624
印刷製本費	331,664	440,460	-108,796
渉外費	222,983	205,201	17,782
光熱水料費	432,736	488,634	-55,898
リース料	278,208	278,208	0
保険料	28,515	28,334	181
諸謝金	40,000	189,353	-149,353
租税公課	3,701,650	5,199,880	-1,498,230
支払寄付金	104,000	21,000	83,000
支払手数料	88,794	84,438	4,356
委託費	2,841,480	2,835,000	6,480
雑費	636,656	773,517	-136,861
経常費用計	239,345,019	291,906,896	-52,561,877
当期経常増減額	48,138,409	-2,609,726	50,748,135
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	48,138,409	-2,609,726	50,748,135
一般正味財産期首残高	750,427,106	753,036,832	-2,609,726
一般正味財産期末残高	798,565,515	750,427,106	48,138,409
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産期末残高	30,000,000	30,000,000	0
III 正味財産期末残高	828,565,515	780,427,106	48,138,409

平成29年度 正味財産増減計算書内訳表

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	普及促進事業 (公 1)	普及啓発事業 (公 2)	共 通	小 計		
I 一般正味財産増減の部						
1 経常増減の部						
(1) 経常収益						
①基本財産運用益	0	0	120,000	120,000	0	120,000
②特定資産運用益	0	0	14,762	14,762	0	14,762
③受取会費	0	0	88,610,250	88,610,250	88,610,250	177,220,500
正会員受取会費	0	0	3,365,000	3,365,000	3,365,000	6,730,000
賛助会員受取会費	0	0	85,245,250	85,245,250	85,245,250	170,490,500
④事業収益	98,752,772	0	0	98,752,772	0	98,752,772
講習会等実施事業収益	11,867,892	0	0	11,867,892	0	11,867,892
指導者養成事業収益	68,308,880	0	0	68,308,880	0	68,308,880
資格等授与事業収益	18,576,000	0	0	18,576,000	0	18,576,000
⑤受取寄付金	0	0	693,000	693,000	0	693,000
受取寄付金	0	0	693,000	693,000	0	693,000
⑥雑収益	708,010	160,536	348	868,894	9,813,500	10,682,394
総会・懇親会会費	0	0	0	0	9,813,500	9,813,500
受取利息	0	0	348	348	0	348
雑収益	708,010	160,536	0	868,546	0	868,546
経常収益計	99,460,782	160,536	89,438,360	189,059,678	98,423,750	287,483,428
(2) 経常費用						
①事業費	135,117,143	61,383,029	0	196,500,172	0	196,500,172
役員報酬	16,849,560	6,739,920		23,589,480		23,589,480
給料手当	17,971,729	3,979,134		21,950,863		21,950,863
臨時雇賃金	4,887,525	560,719		5,448,244		5,448,244
報酬謝金	27,183,400	480,000		27,663,400		27,663,400
退職給付費用	477,912	58,833		536,745		536,745
退職給付金	980,000	0		980,000		980,000
法定福利費	2,932,014	720,012		3,652,026		3,652,026
会議費	7,784,114	339,985		8,124,099		8,124,099
会場費	0	133,520		133,520		133,520
研修会場費	16,140,532	90,000		16,230,532		16,230,532
旅費交通費	14,748,037	3,003,786		17,751,823		17,751,823
通信運搬費	2,098,601	5,519,219		7,617,820		7,617,820
減価償却費	5,806,019	1,377,578		7,183,597		7,183,597
什器備品費	0	205,960		205,960		205,960
消耗品費	2,457,870	971,281		3,429,151		3,429,151
修繕費	2,412,204	0		2,412,204		2,412,204
印刷製本費	856,592	8,864,640		9,721,232		9,721,232
渉外費	407,876	11,685		419,561		419,561
光熱水料費	1,096,053	172,212		1,268,265		1,268,265
リース料	139,104	46,368		185,472		185,472

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	普及促進事業 (公 1)	普及啓発事業 (公 2)	共 通	小 計		
保険料	286,496	157,771		444,267		444,267
諸謝金	40,000	1,210,000		1,250,000		1,250,000
租税公課	1,700,780	339,240		2,040,020		2,040,020
インターネット費	0	787,232		787,232		787,232
支払手数料	215,704	11,274		226,978		226,978
委託費	4,945,491	23,760		4,969,251		4,969,251
事務委託費	1,912,750	25,368,300		27,281,050		27,281,050
雑費	786,780	210,600		997,380		997,380
②管理費	0	0	0	0	42,844,847	42,844,847
役員報酬					8,510,520	8,510,520
給料手当					6,094,164	6,094,164
退職給付費用					139,139	139,139
退職給付金					200,000	200,000
法定福利費					1,730,098	1,730,098
福利厚生費					733,531	733,531
会議費					8,934,353	8,934,353
会場費					1,440,238	1,440,238
旅費交通費					561,565	561,565
通勤費					1,116,600	1,116,600
通信運搬費					1,205,446	1,205,446
減価償却費					1,520,481	1,520,481
什器備品費					613,526	613,526
消耗品費					1,259,142	1,259,142
修繕費					79,358	79,358
印刷製本費					331,664	331,664
渉外費					222,983	222,983
光熱水料費					432,736	432,736
リース料					278,208	278,208
保険料					28,515	28,515
諸謝金					40,000	40,000
租税公課					3,701,650	3,701,650
支払寄付金					104,000	104,000
支払手数料					88,794	88,794
委託費					2,841,480	2,841,480
雑費					636,656	636,656
経常費用計	135,117,143	61,383,029	0	196,500,172	42,844,847	239,345,019
当期経常増減額	-35,656,361	-61,222,493	89,438,360	-7,440,494	55,578,903	48,138,409
2 経常外増減の部						
(1)経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	7,440,494	7,440,494	-7,440,494	0

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	普及促進事業 (公 1)	普及啓発事業 (公 2)	共 通	小 計		
当期一般正味財産増減額	-35,656,361	-61,222,493	96,878,854	0	48,138,409	48,138,409
一般正味財産期首残高				509,375,617	241,051,489	750,427,106
一般正味財産期末残高				509,375,617	289,189,898	798,565,515
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額				0	0	0
指定正味財産期首残高				30,000,000	0	30,000,000
指定正味財産期末残高				30,000,000	0	30,000,000
III 正味財産期末残高				539,375,617	289,189,898	828,565,515

平成29年度 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 投資有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券について、償却原価法は重要性が乏しいため採用していない。
- (2) 固定資産の減価償却方法
 - ① 有形固定資産
建物については、定額法によっている。
建物附属設備、構築物については、定額法及び定率法によっている。
什器備品については、定率法によっている。
 - ② 無形固定資産
定額法によっている。
- (3) 役員退職慰労引当金の計上基準
役員の退職慰労金の支払いに充てるため規定に基づく期末要支給額を計上している。
- (4) 退職給付引当金の計上基準
職員に対する退職金の支払いに備えるため規定に基づく期末要支給額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額とその残高

基本財産及び特定資産の増減額とその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	30,105,000	0	0	30,105,000
小計	30,105,000	0	0	30,105,000
特定資産				
退職給付引当資産	23,000,000	4,775,000	2,775,000	25,000,000
減価償却引当資産	85,000,000	15,000,000	0	100,000,000
新自彊術会館建設積立資産	50,000,000	30,000,000	0	80,000,000
小計	158,000,000	49,775,000	2,775,000	205,000,000
合 計	188,105,000	49,775,000	2,775,000	235,105,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当)	(うち一般正味 財産からの充当)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	30,105,000	(30,000,000)	(105,000)	(-)
小計	30,105,000	(30,000,000)	(105,000)	(-)
特定資産				
退職給付引当資産	25,000,000	(-)	(-)	(25,000,000)
減価償却引当資産	100,000,000	(-)	(100,000,000)	(-)
新自彊術会館建設積立資産	80,000,000	(-)	(80,000,000)	(-)
小計	205,000,000	(-)	(180,000,000)	(25,000,000)
合 計	235,105,000	(30,000,000)	(180,105,000)	(25,000,000)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	350,709,492	107,079,991	243,629,501
建物附属設備	17,097,820	9,584,238	7,513,582
構築物	1,053,982	656,473	397,509
什器備品	9,403,634	6,542,218	2,861,416
商標権	2,438,175	1,893,875	544,300
ソフトウェア	476,700	476,700	0
合 計	381,179,803	126,233,495	254,946,308

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価および評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価および評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価格	時価	評価損益
第339回利付国債(10年)	30,105,000	31,008,000	903,000
合 計	30,105,000	31,008,000	903,000

6 支部組織の会計の合計

平成20年度より支部組織の会計を合計表示している。

支部が独立した会計単位となっていないため本部が支部からの会計資料を基礎にして決算を行い、本部会計と合計している。

7 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	28,988,000	0	2,775,000	0	26,213,000
退職給付引当金	870,704	675,884	0	0	1,546,588

平成29年度 財産目録

平成30年3月31日現在

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金	・手元保管(本部)	運転資金として	334,623		
		・手元保管(各支部・61口)	運転資金として	5,344,993		
	<現金計>				5,679,616	
	預金	・城北信用金庫駒込支店	運転資金として	41,287,747		
		・三菱東京UFJ銀行駒込支店	運転資金として	2,232,380		
		・ゆうちょ銀行中里郵便局	運転資金として	25,773,335		
		・ゆうちょ銀行支部口座(61口)	運転資金として	67,582,094		
		<普通預金計>				136,875,556
		・ゆうちょ銀行中里郵便局	運転資金として (026471)	11,257,726		
	・ゆうちょ銀行王子郵便局	運転資金として (687874)	403,958			
<振替預金計>				11,661,684		
未収金	・講師料等の未収額	普及促進事業に供する講師料等の未収分	588,050			
前払費用	・火災保険料等前払費用額	公益目的事業及び管理業務の用に供する前払費用	389,937			
<その他計>				977,987		
流動資産合計				155,194,843		
(固定資産)	基本財産	投資有価証券	・第339回利付国債	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	30,105,000	
			<基本財産計>			
	特定資産	退職給付引当資産	・定期預金	負債(退職引当金)に対応して引当された資産	15,000,000	
			・普通預金 三菱東京UFJ銀行駒込支店	負債(退職引当金)に対応して引当された資産	10,000,000	
		減価償却引当資産	・定期預金 三菱東京UFJ銀行駒込支店	減価償却累計額に対応して引当された資産	100,000,000	
			・定期預金 三菱東京UFJ銀行駒込支店	新自彊術会館建設目的のために積立られた資産	80,000,000	
	<特定資産計>				205,000,000	
	その他固定資産	建物	・会館 北区中里二丁目14	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は66%:34%である。	36,825,053	
			・本部道場 北区中里二丁目12	公益目的事業の用に100%供している。	139,290,900	
		建物(工事)	・資料館及び会館内装工事 北区中里二丁目14	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は82%:18%である。	11,659,535	
		建物	・第二道場 北区中里二丁目14	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は80%:20%である。	43,753,167	
		建物(改修工事)	・資料館及び事務所の改修工事 北区中里二丁目14	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は31%:69%である。	5,376,937	
		建物(補修工事)	・本部道場の外部補修工事 北区中里二丁目12	公益目的事業の用に100%供している。	6,723,909	
		<建物計>				243,629,501
		建物附属設備	・会館の空調・電気・昇降 設置工事	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は50%:50%	352,513	
	・本部道場・会館の看板交換 工事		公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は76%:24%	53,511		
	・第二道場の電気・ガス・ 給排水・冷暖房等設備工事		公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は80%:20%	1,954,459		
・会館2F設備・電気・照明工事	管理業務の用に100%供している。		2,323,870			

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
構築物	構築物	・会館3F電気工事・ミニキッチン等	公益目的事業の用に100%供している。	198,518		
		・本部道場空調機オーバーホール	公益目的事業の用に100%供している。	890,595		
		・本部道場地下倉庫棚設置工事	管理業務の用に100%供している。	210,566		
		・本部道場空調機オーバーホール追加	公益目的事業の用に100%供している。	1,529,550		
	<建物附属設備計>				7,513,582	
	什器備品	構築物	・第二道場の舗装・排水工事、 ネットフェンス・電動門扉	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、 共用割合は80%:20%である。	397,509	
			<構築物計>			
		什器備品	・家具	公益目的事業、管理業務の共用割合22%:78%	72,481	
			・コンピューターサーバー	公益目的事業、管理業務の共用割合22%:78%	1	
			・組込金庫	公益目的事業、管理業務の共用割合22%:78%	74,551	
			・第二道場の電話設備・共同 視聴装置	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、 共用割合は80%:20%	1	
			・第二道場のインターフォン 設備工事	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、 共用割合は80%:20%	1	
			・絵画	管理業務の用に100%供している。	1,350,000	
			・会館2Fエアコン・ブラインド	管理業務の用に100%供している。	212,665	
			・会館1Fエアコン	公益目的事業の用に100%供している。	249,063	
			・会館3Fエアコン・換気扇	公益目的事業の用に100%供している。	32,888	
			・会館3F事務机・応接セット	管理業務の用に100%供している。	315,776	
			・AED 2台	公益目的事業の用に100%供している。	553,989	
			<什器備品計>			
	土地	・95.70㎡(会館) 北区中里二丁目14	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、 共用割合は66%:34%である。	66,453,187		
土地	・131.23㎡(本部道場) 北区中里二丁目12	公益目的事業の用に100%供している。	109,410,000			
土地	・116.68㎡(第二道場) 北区中里二丁目14	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、 共用割合は80%:20%	91,861,500			
<土地計>				267,724,687		
商標権	・自彊術に関する日本・中国・ 台湾の商標権	公益目的事業の用に100%供している。	544,300			
ソフトウェア	・法人会計ソフト	管理業務の用に100%供している。	0			
電話加入権	・電話加入権	公益目的事業の用に100%供している。	72,800			
保証金	・警備保障会社契約保証金	管理業務の用に100%供している。	20,000			
<その他計>				637,100		
固定資産合計			757,868,795			
資産合計			913,063,638			
(流動負債)	未払金	・印刷製本費	月刊機関紙印刷代等の未払額	1,210,414		
		・郵便事業	3月分後納郵便代	140,240		
		・北社会保険事務所	3月分厚生年金保険料他	354,859		
		・月一会講師料・交通費	本部、九州・中国総支部研修会講師料・交通費	239,816		
		・台北教室講師料・交通費	3月分台北教室講師料・交通費	98,300		
		・ABCサービス他	道場障子代等の未払額	400,126		
<未払金>				2,443,755		
	前受会費	・土曜教室月謝	本部道場土曜教室4~6月分月謝	456,000		
		・賛助会費	平成30年度賛助会費の前受会費	39,994,500		
		・研修会費	第103回熱川研修会の研修会費	4,022,920		
		・研修会費	平成30年度本部道場研修会費	9,204,600		
		・公郷老人憩いの家他	平成30年度団体会費他	60,000		

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	預り金	・王子税務署 ・ ・豊島区役所他 ・雇用保険料他	<p style="text-align: right;"><前受会費></p> 3月分 給与分源泉所得税 239,682 3月分 204条源泉所得税 7,147 3月分 住民税 244,700 65,231 <p style="text-align: right;"><預り金></p> 556,760	53,738,020
流動負債合計				56,738,535
(固定負債)	役員退職慰労引当金	・役員退職慰労引当金	常勤役員の退職慰労金の引当金 <p style="text-align: right;"><役員退職慰労引当金></p> 26,213,000	26,213,000
	退職給付引当金	・退職給付引当金	職員退職金の引当金 <p style="text-align: right;"><退職給付引当金></p> 1,546,588	1,546,588
固定負債合計				27,759,588
負債合計				84,498,123
正味財産				828,565,515

監査報告書

平成 30 年 5 月 18 日

公益社団法人 自彊術普及会
代表理事 久保 穎子 殿

監 事 飯森 和也  印

監 事 平野 晶己  印

私たちは、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの平成29年度における会計および業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について理事からの報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書及び正味財産増減計算書内訳表並びに財産目録は、会計帳簿の金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上